

サステナビリティ経営方針

2026年1月

株式会社興和工業

代表取締役 江川 群

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。また、近年、SDGsへの関心の高まり等、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

塗装は、単に物に塗料を施す作業ではなく、美観の向上、耐久性の強化、機能性の付加といった付加価値等、製品に新たな価値を創出する技術です。当社では、徹底した環境対策と安全・安心な作業環境のもと、長年にわたり研鑽を重ねてきた塗装技術を活かし、医療機器や精密測定機器等の分野において、お客様に高付加価値を提供することで、ものづくりに貢献しています。

今回の検討結果

当社は、塗装を通じて医療機器等のものづくりに貢献しています。医療機器分野は今後の市場拡大が期待される一方、他社との競争もこれまで以上に厳しくなると予想されます。このような状況下で当社が持続的な成長を遂げるためには、新たな市場の開拓、培ってきた塗装技術のさらなる発展に向けた人的資本の高度化、業務の見直しによる効率化・生産性向上、そして継続的な取引を維持するための事業継続リスクの低減が重要です。これらの課題に対応するため、今回4つのマテリアリティを設定し、重点的に取り組んでまいります。



経営体制の強化



人的資本経営の
高度化



労働生産性の向上



事業継続

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

経営体制の強化



選定理由

取引先の多様化はリスクの分散化と収益の安定化につながり、盤石な財務基盤の構築に資することからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 営業チャネルの拡大

取り組み効果

- 安定した財務基盤の確立
- 企業価値の向上



KPI(目標と指標)

- 2035年までに医療以外の売上比率を70%以上とする
(2025年:60%)
- 新規取引先を開拓する
(毎年3社以上)

マテリアリティ

人的資本経営の高度化



選定理由

品質は従業員一人一人の技術力に支えられており、従業員が働きやすく成長できる環境を整備することは、事業の成長に不可欠であることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 有給休暇日数の段階的な増加と取得促進
- 1 on 1ミーティングの継続実施(3カ月に1回)

取り組み効果

- 従業員満足度の向上



KPI(目標と指標)

- 2035年までに年間休暇日数を120日にする
(2025年:110日)

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

労働生産性の向上



選定理由

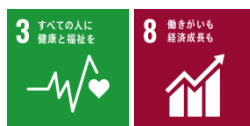
労働生産性を高めるための業務見直しは、従業員の生産性向上に加え、安全性の向上にも寄与することからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 作業環境の見直し
- 製造工程の見直しによる不良品の削減

取り組み効果

- 効率化・生産性の向上
- 安全性の向上



KPI(目標と指標)

- 労働災害0件を継続する
- 2030年までに社内不良率を1%にする
(2025年:5%)

マテリアリティ

事業継続



選定理由

事業の成長局面においては、有事の際のリスクを整理し、あらかじめ対策を講じておくことが、成長分野への戦略的な資源投入を可能にする前提となることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- モデルケースの設計
- 代替手段の検討

取り組み効果

- 事業戦略の高度化
- 取引先企業への信用力向上



KPI(目標と指標)

- 2028年までにBCPプランを策定する